

第1号議案

**平成30年度
事業報告書・収支決算書**

新穂地域づくり協議会

平成 30 年度 新穂地域づくり協議会 事業報告書

1 組織管理費

(1) 平成 30 年度 新穂地域づくり協議会通常総会

日 時	平成 31 年 3 月 29 日 (金) 18 時 30 分～
場 所	トキのむら元気館
議 案	第 1 号議案 平成 30 年度事業報告及び収支決算について 第 2 号議案 新穂地域づくり協議会規約一部改正について 第 3 号議案 集落活動支援事業助成金交付規程の一部改正について 第 4 号議案 平成 31 年度事業計画及び収支予算 (案) について 第 5 号議案 新穂地域づくり協議会役員の選任について

(2) 会長・副会長会議

回	日時	場 所	出席数	内 容
1	4 月 9 日 (月) 16 時～	新穂行政 SC 第 1 会議室	3 人	・新穂地区合同防災訓練実施について
2	3 月 12 日 (火) 15 時 30 分～	新穂行政 SC 応接室	2 人	・平成 30 年度事業実績及び収支決算について ・新穂地域づくり協議会規約の一部改正 (案) について ・集落活動支援事業助成金交付規程の一部改正 (案) について ・平成 31 年度事業計画及び収支予算 (案) について ・役員の改選について ・総会日程等について

(3) 役員会

日 時	平成 31 年 3 月 15 日 (金) 18 時 30 分～
場 所	新穂行政 SC 第 3 学習室
出席者数	20 人
議 案	・平成 30 年度事業実績及び収支決算について ・新穂地域づくり協議会規約の一部改正 (案) について ・集落活動支援事業助成金交付規程の一部改正 (案) について ・平成 31 年度事業計画及び収支予算 (案) について ・役員の改選について ・総会日程等について

(4) 監査

日 時	平成 31 年 3 月 14 日 (木) 19 時～
場 所	新穂行政 SC 会議室
出席者数	5 人
内 容	・決算監査

2 集落の活動支援事業

2-1 集落活動支援事業（自治会活動保険）

(1) 自治会活動保険への加入

契約会社	損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取扱代理店：奥田保険）
保険料	230,250円
保険期間	平成30年6月1日～平成31年6月1日
保険支払	2件受理、1件処理

2-2 集落活動助成（申請数 13件）

集落名	対象事業	交付額	事業内容
舟下	防災資機材・備蓄物資等整備支援事業	25,000円	救命胴衣(4着)を購入
下大野	防災資機材・備蓄物資等整備支援事業	15,000円	消火器、飲料水用ポリタンクを購入
郷平	空き家対策支援事業	15,000円	空き家周辺の道路脇の除草作業を行う
	防災資機材・備蓄物資等整備支援事業	10,000円	三角コーン、コーンヘッドを購入
上新穂	防災資機材・備蓄物資等整備支援事業	24,000円	スコップ、飲料水用ポリタンク、ブルーシートを購入
瓜生屋	防災資機材・備蓄物資等整備支援事業	22,000円	土木用水中ポンプの購入
内巻	防災資機材・備蓄物資等整備支援事業	22,000円	ダンボールベッド（2基）の購入
島	防災資機材・備蓄物資等整備支援事業	22,000円	飲料水用ポリタンクの購入。
北方	イベント支援事業	25,000円	新穂北方竹の宵の開催。
新穂	防災資機材・備蓄物資等整備支援事業	22,000円	消火器、備蓄用飲料水の購入
馬場	環境美化支援事業	5,000円	集会所及び馬場駐車場周辺の草刈りを行う
	防災資機材・備蓄物資等整備支援事業	20,000円	飲料水用タンク（折り畳み式）の購入
三協	防災資機材・備蓄物資等整備支援事業	24,000円	飲料水用タンク（折り畳み式）、ブルーシートの購入
11集落	計	251,000円	—

※対象事業：1. 集落間連携支援事業、2. イベント支援事業、3. 環境美化支援事業、4. 大学生等の受入れ支援事業、5. 子育て支援事業、6. 空き家対策支援事業、7. 防災資機材・備蓄物資等整備支援事業

3 地域全体の活性化事業

3-1 合意形成システム形成事業

(1) 代議員（集落長）会議

回	日時	場所	出席数	内容
1	5月24日(金) 13時～	新穂行政 SC 第3学習室	22人	・会費集金状況について ・自治会活動保険加入について ・集落活動助成事業について ・災害時協力井戸の募集について
2	1月24日(木) 13時30分～	新穂行政 SC 第3学習室	21人	※事務嘱託員会議 ・新穂地域づくり協議会の運営について

3-2 情報発信事業

(1) 地域づくり協議会ホームページ

(年間使用料 11,340円)

(2) 新穂地域づくり通信発行 (vol.17) 各戸回覧

	見出し	発行日	内容
1	第2回総会を開催しました！	6月25日 (第17号)	・第2回総会の様子(収支決算、予算) ・年会費等集金状況報告

3-3 環境整備費(環境整備部会)

(1) 部会活動費

① 部会会議

回	日時	場所	出席数	内容
1	5月17日(木) 19時～	新穂行政 SC 会議室	6人	・新穂ダム桜保全作業について ・外来植物啓発チラシについて
2	6月26日(火) 19時～	新穂行政 SC 会議室	5人	・新穂ダム桜保全作業の反省(振り返り)について ・外来植物啓発チラシ原稿構成について ・環境保全団体との連携活動について
3	10月1日(月) 19時～	新穂行政 SC 会議室	6人	・桜植樹事業について ・新穂ダム桜管理事業について
4	11月5日(月) 19時～	新穂行政 SC 会議室	5人	・環境特別講演会の開催について ・新穂ダム保全作業の実施について
5	2月19日(火) 19時～	新穂行政 SC 会議室	6人	・平成30年度事業報告について ・平成31年度事業計画について

② 環境特別講演会（※環境保護団体等との連携）

日 時	11月12日（月）18時30分～
場 所	トキのむら元気館会議室
参加人数	58人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「佐渡の明後日は？自立できる島へ向かって」 講師：鈴木 基之 氏（東京大学名誉教授、元中央環境審議会会長） ・「自然を活かした地域振興の事例紹介と佐渡への思い」 講師：水井 涼太 氏 （NPO 法人ディスカバーブルー代表理事、横浜国立大学客員准教授） ・「木質バイオマスの可能性」 講師：弓木 麻記子 氏（いであ株式会社） ・「森・木・薪を使った地域振興について」 講師：稲田 あや 氏（いであ株式会社）



③ Save Our Sakura! 新穂ダムの桜を救おう！ 一桜の名所復活をめざしてー

回	日 時	場 所	参加人数	内 容
1	6月17日（日） 8時30分～正午	新穂ダム 右岸	26人	・桜周辺の除草、キヅタ除去、雑木伐採 等 ・昼食にカレーを提供
2	7月28日（土） 8時30分～		15人	・雑木の伐採、除去
3	12月2日（日） 8時30分～正午		32人	・キヅタ、藤ヅル等除去、雑木伐採撤去 等 ・昼食に豚汁を提供
4	3月19日（火） 9時～正午	新穂ダム 堤下	7人	・桜に巻きついた藤ヅル等の除去



3-4 伝統文化費（伝統文化部会）

(1) 部会活動費

① 部会会議

回	日時	場所	出席数	内容
1	6月15日(金) 19時～	新穂行政 SC 会議室	7人	<ul style="list-style-type: none"> ・新穂地域づくり計画及び年間事業について ・EC2018 新穂地区イベントの活動協力について ・春駒&のろま人形上演会開催への協力について ・畑野神輿保存会との交流について
2	1月15日(火) 18時30分～	新穂行政 SC 会議室	7人	<ul style="list-style-type: none"> ・春駒&のろま人形上演会の報告及び次年度の計画について ・次年度の夏まつりにおける春駒&のろま人形の上演について
3	2月26日(火) 18時30分～	新穂行政 SC 会議室	7人	<ul style="list-style-type: none"> ・30年度事業報告について ・31年度事業計画について

② 地域活性化部会との合同会議

月 日	7月25日(水) 19時～
場 所	新穂行政 SC 会議室
出 席 数	14人
内 容	・EC2018 新穂地区イベント内容確認

(2) EC2018 新穂地区イベント

- ・応募者が規定に達しなかったため、事業を中止。

(3) 春駒&のろま人形上演会

月 日	7月14日(土)～8月12日(日)の土・日と8月14日(火)の11回
場 所	新穂歴史民俗資料館
入 場 数	大人 186人、子ども 16人 計202人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・春駒の上演と、のろま人形の廣栄座、新青座、末廣座が日替わりで「生地蔵」「そば畑」「五輪仏」ほかを上演。 ・8月14日は春駒のほか、説経人形（廣栄座）とのろま人形（新青座）を上演。



(4) 立志元服式支援

月 日	平成31年1月12日(土)
場 所	トキのむら元気館
内 容	紅白饅頭の提供

3-5 生活安心費(生活安心部会)

(1) 部会活動費

① 部会会議

回	日時	場所	出席数	内容
1	5月18日(金) 19時~	新穂行政 SC 会議室	6人	・平成30年度新穂地域づくり協議会事業計画について ・新穂地区合同防災訓練の実施について
2	3月1日(金) 18時30分~	新穂行政 SC 会議室	4人	・平成30年度事業報告について ・平成31年度事業計画について

(2) 新穂地区合同防災訓練

① 新穂地区合同防災訓練実施直前確認会議(兼 第一回代議員会議)

日 時	平成30年5月24日(木)19時~
場 所	新穂行政 SC 2階 第3学習室
出席人数	42人 (新穂地区内自主防災組織代表、地域づくり協議会役員・生活安心部会員、 県地域振興局、佐渡市(消防本部含む))
内 容	・新穂地区合同防災訓練の実施内容の説明と確認

② 新穂地区合同防災訓練

日 時	平成30年6月3日(日)8時30分~
場 所	新穂地区全域
参加人数	延べ 498人 (地域住民、佐渡市新穂地区消防団員、地域振興局、社会福祉協議会、赤十字奉 仕団、佐渡東警察署、佐渡市(消防本部含む))
訓練内容	①情報収集・伝達訓練 ②住民避難誘導訓練 ③避難所等開設・運営訓練 ④応急給水訓練 ⑤担架作成・搬送講習 ⑥家具等転倒防止対策講習 ⑦防災啓発・各種防災資機材展示 ⑧学習型防災訓練 等



③ 新穂地区合同防災訓練反省会議

日 時	平成 30 年 6 月 28 日 (木) 19 時～
場 所	トキのむら元気館 第 2、3 会議室
参加人数	39 人 (新穂地区内自主防災組織代表、地域づくり協議会役員・生活安心部会員、県地域振興局、佐渡市 (消防本部含む))
内 容	・ 訓練実施状況と課題等について (情報収集・伝達訓練、住民避難誘導訓練、避難所開設・運営訓練) ・ 意見交換等

(3) 災害時協力井戸の募集・登録

応募数	15 件
検査数	15 件 (うち再検査 3 件)
合格数 (登録)	10 件

(4) 新穂地区防災ガイド（地区防災計画）の全戸配布

月 日	平成30年10月10日（水）
内 容	・平成29年度に作成した新穂地区防災ガイドを全戸配布

3-6 地域活性化費（地域活性化部会）

(1) 部会活動費

① 部会会議

回	日時	場所	出席数	内 容
1	6月18日（月） 19時～	新穂商工会 教養娯楽室	9人	・結果報告 山王まつり 神輿保存会との交流 ・まちなか空き家の利活用について ・新穂ふるさと夏まつり支援について ・EC2018 新穂地区イベントについて ・畑野神輿保存会との交流について ・鬼太鼓 in にいぼ・朱鷺夕映え市支援について ・講演会（地域に根ざした小さなビジネス起こし（仮称））について ・自然や農林水産を活用した体験型イベント・農業体験ツアーについて
2	11月21日（水） 18時30分～	新穂商工会 教養娯楽室	8人	・結果報告 新穂ふるさと夏まつり、EC2018 新穂地区イベント、畑野神輿保存会との交流、鬼太鼓 in にいぼ・朱鷺夕映え市 ・まちなか空き家の利活用支援について ・講演会開催について
3	2月12日（火） 18時30分～	新穂商工会 教養娯楽室	8人	・平成30年度事業報告について ・平成31年度事業計画について

② 伝統文化部会との合同会議【再掲】

月 日	7月25日（水） 19時～
場 所	新穂行政 SC 会議室
出 席 数	14人
内 容	・EC2018 新穂地区イベント内容確認

③ 地域の連携によるビジネス起こし講演会

日 時	11月30日（金）18時30分～
場 所	新穂商工会館
参加数	30人
内 容	・講演「これからは連携が生きる道」 ～講師：椎葉 彰典 氏（食の高付加価値化研究所 所長）～



④ まちなか空き家利活用支援

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駄菓子屋「よろこん亭」(旧六丸亭) の運営 山王まつり (4/14)、天神まつり (6/24、25) にあわせて5日間設置。 のべ約100人の来店。現在の場所では継続的な設置が難しいため、設置方法を含め検討。 ・ まちなか空き家を活用して起業する際に必要となる物品(発電機、ストーブ、扇風機、テーブルなど)を貸し出せるように購入
-----	---

⑤ 神輿団体山王祭視察招聘

日 時	4月14日(土)
場 所	新穂(日吉神社ほか)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新潟市の神輿団体を招聘し、山王まつりでのねり神輿実施に向けた検討を行う ・ 神輿団体から3名を招聘し、日吉神社神輿及び山王まつりの視察を実施 ・ 境内地の神輿の担ぎ手確保や神輿の補強など課題が多く、検討を要する

(2) 地域2大イベント支援

① 新穂ふるさと夏まつり(支援)

月 日	8月14日(火)18時～
場 所	新穂行政SC横駐車場
内 容	・ イベントに対する人的支援

② 鬼太鼓 in にいぼ・朱鷺夕映え市(協賛事業)

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台風25号の影響によりイベント中止 ・ 協賛金10万円は夕映え市会場の整備等に活用
-----	--

(3) EC2018 新穂地区イベント(再掲)

- ・ 応募者が規定に達しなかったため、事業を中止。

4 その他

(1) 花見期間の新穂ダムえん堤開放（協力）

期 間	4月8日(土)～5月7日(日)
場 所	新穂ダムえん堤
内 容	佐渡市取組 ・ 標識ロープ設置（安全対策） ・ 仮設トイレ2基設置

(2) 地域防災リーダースキルアップ研修会での先進事例報告

期 間	12月15日(土) 13時～16時
場 所	真野ふるさと会館
内 容	小濱副会長出席 ・ 新穂地域づくり協議会設立と新穂地区防災計画策定について報告

(3) 新穂中学校コミュニティ・スクール（学校運営協議会）への参加

月 日	1月21日、2月19日
場 所	新穂中学校
内 容	小濱副会長出席 ・ 地域住民・保護者等が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」に参加

新穂地区合同防災訓練反省会議で出された意見等

平成 30 年 6 月 28 日開催

1 自主防災組織からの意見・感想

組織名	内 容
① 上大野自主 防災組織	安否確認訓練を中心に行った。以下の点が課題と感じた。 ・約3分の1の方は、自力避難が困難と言われた。 ・緊急情報端末の放送を約3分の1の方は、放送が聞こえない、聞いていないと言われた。
② 潟上自主 防災組織	災害に無関係の地域もあるが、天王川流域を中心に多くの方が参加した。良かった点として消防団と民生委員が安否確認にまわり必要なことと感じた。訓練を続けることで様々な意見が出ると思うので、来年以降も訓練をやった方が良く考えている。
③ 三協自主 防災組織	課題として、集落指定の避難場所と放送でアナウンスしている元気館のどちらに避難すればよいかという点と、役員が仕事等で不在の場合の対応をどうすればよいかという点があげられる。また、緊急情報ラジオがないところでは情報が得られないからメール発信のようなものが必要。 【一時避難場所については、各自主防災会で決めてもらいたい。メール発信は「メール配信システム」があるのでご利用いただきたい】
④ 青木自主 防災組織	地震災害の対応であったため、安否確認訓練を兼ねて集落センターに集合した。 災害想定が少ない地域なので防災に対する温度差があるが、訓練は毎年行った方が良い。ただもう少し有効な訓練を行う方が良いと感じる。
⑤ 舟下自主 防災組織	避難場所として指定している場所は洪水の被害を受けるところで、(洪水想定)避難所にはならない。どこへ逃げればよいかという意見が出た。また、周辺も浸水するためマイクロバス等で輸送し元気館へ避難できるかなど取り上げていてもらいたい。 【浸水想定外の外の避難場所へ避難していただきたい。マイクロバスによる輸送は困難なため、早め早めの避難をしてもらいたい】
⑥ 下大野自主 防災組織	下大野は大雨による災害の発生が想定されない地区のため、訓練の放送が流れなかったが、地区民に周知し訓練に参加してもらうためにも放送を流してもらいたかった。

※【 】内は市からの回答

組織名	内 容
⑦ 武井自主 防災組織	<p>(大野川や新穂川の氾濫で) 新穂の街中で水が溢れた場合、元気館へ避難するのか、総合高校へ避難した方が良いのではないかという話が出た。</p> <p>【総合高校に避難しても市職員を通じた安否確認は可能。危険な場所に避難しろということではない。】</p>
⑦ 協議会役員	<p>災害時の建設業者へのパトロール依頼体制が決まっておらず市は遅れている。早く決めていただき、市の指示を仰げるようにしてもらいたい</p>

※【 】内は市からの回答

2 市及び関係機関等からの意見・報告・感想

機関名等	内 容
① 大野川ダム 管理所 (新潟県佐渡地 域振興局治水課)	<p>二つの課題について確認できた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3か所で放流サイレンを鳴らしたが、1か所が鳴らなかった。(業者へ点検を依頼) ・ 7か所の放流警報スピーカーを上流から順次鳴らしたが、全て鳴らし終わるのに17分かかった。放送内容を短くすることや優先して放送するか所を設けるなどの検討が必要。
② 消防本部	<p>情報伝達訓練として実災害に近い活動ができたことは有意義であった。</p> <p>住民避難誘導訓練では実災害発生時の消防団と自主防災会の連携をどうするかということをご地区ごとに話し合ってもらいたい。</p>
③ 防災管財課	<p>県や市消防本部、建設課との情報伝達と情報共有については手順どおり実施できたと考える。</p>
④ 建設課	<p>県からの情報を関係各機関・部署へ伝達する訓練であったが、今回実践的に手順書に従いながら確実に情報伝達ができたと考える。</p>

監査報告書

新穂地域づくり協議会規約第19条に基づき、平成30年度の監査を実施しましたので、その結果を下記のとおり報告します。

記

- 1 監査実施日 平成31年3月14日（木）
- 2 監査実施場所 新穂行政サービスセンター
- 3 監査に立ち会った役員 副会長 小濱 安夫
- 4 監査の結果

会計に関する諸帳簿、預金通帳及び領収書を照合した結果、収支会計は適正に処理されていることを確認しました。また、実施事業については、役員及び事務局からの説明と各事業の関係書類並びに事業毎の収支により、事業報告書のとおり実施されていることを併せて確認しました。

平成31年3月14日

監事

柴山春樹



監事

相田忠明

